

令和4年度（2022年度） 西宮市立瓦林小学校学校経営方針

創立時の教育目標設定の礎

『瓦林小学校の児童としての誇りをもたせ、

ひとりひとりを生かす豊かな人間性の育成をめざして

次の教育目標を定める』

この“誇りをもたせ”（自尊感情）は、保護者や地域の深い理解と協力のもと取り組んできた本校教育推進の根幹として長きにわたり継承されてきた。「誇り」を持たせるためには、成功体験をさせることが必要である。成功体験をもたせるためには児童理解の深化と教科行事のねらい（あり方）を常に共通理解し、実践することが大切である。“瓦林小学校の児童としての誇り”をもたせることが、学校教育目標“磨かれた知性・豊かな心情・ねばり強い体力をもってたくましく生きる子どもを育てる”ことにつながる。

学 校 教 育 目 標

磨かれた知性・豊かな心情・ねばり強い体力をもってたくましく生きる子供を育てる

【磨かれた知性】＝ 基礎・基本の定着と意欲の向上、豊かな体験で感性を高め、よく生きようとする事
（自分で課題を見つけ、自ら学び、考えて主体的に判断し、よりよく解決する能力）

【豊かな心情】＝ 鋭敏な人権感覚のもとに、思い合う心・強い意志を持ち、協働すること
（自らを律しつつ、他人と協調し、思い合う心・感動する心など、豊かな人間性）

【ねばり強い体力】＝ 健康でたくましい体を作ること
（たくましく生きてゆくための健康と体力）

目指す学校像	求める教師像	目指す児童像
☐ 生きがい 常に明るく、生き生きと 活気に満ち、夢のある学校	☐ 児童愛 常に子どもとともにあり、 共に歩む教師	☐ 考える子 自ら学び続ける子
☐ 連携 地域に開かれ、 連携のとれた学校	☐ 指導力 子どもを見極め、生かし、 伸ばす教師	☐ 助け合う子 思い合う心をもって、 助け合いができる子
☐ 環境 美しく秩序があり、 さわやかな学校	☐ 研修・研究 より良い授業を創造し、 研修に努める教師	☐ 元気な子 心と体を鍛え、 最後までやりぬく子

2. 本年度の重点目標

「誇りやあこがれを持ち、つながりを大切にする子供の育成」

～ 持続可能な教育活動の推進を目指して ～

3. 学校経営の重点

I ひととして生きてゆく力を育む学校（人間尊重の教育）＝人のつながり

- 学年・学級経営の充実
 - ・学年が母体であるとの認識を持ち、課題と成果を共有し、児童の育成に組織的に取り組む。
 - ・「甘やかし」ではない児童一人ひとりを大切にする教育を意識し、自己存在感と共感的人間関係や自己決定の場がある学級経営を展開する。
 - ・開かれた学級・学年経営を推進する。
- 開発的な生徒指導の充実（人権の感性を高める教育）
 - ・多面的な児童理解を深め、可能性を引き出すための手立てを学年で共有し、実践する。
 - ・特別支援教育や児童理解・学級経営に関する交流会や研修会を充実させ、実践する。
 - ・配慮を要する児童への共通理解と協力体制を推進する。
 - ・教育相談（心のケア）を充実する。
- 生命の尊厳、共生の視点に立った教育の実践
 - ・生命・人権・自尊感情を大切にする人権教育を推進する。
 - ・児童の心に響く道徳教育を推進し、実践する。
 - ・体験活動や多くの人とふれあう活動を通して、豊かな心の育成を図る教育を推進する。
 - ・「なかよし活動」や全校的行事で児童の主体性を育む教育活動の充実を図る。

II 学びが育つ学校（学習指導の充実・進路を保障する教育）＝学びのつながり

- 学ぶ意欲・わかる楽しさが実感できる授業の創造
 - ・子供の発達段階や実態に即し、指導と評価の一体化を図る。
 - ・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」のバランスがとれた指導を図る。
 - ・情報機器の活用等で関心意欲と技能や知識の定着と向上を図る。
 - ・系統立てた「キャリア教育」や「総合的な学習の時間」を展開し、未来志向の教育の推進を図る。
 - ・図書ボランティアや学校司書と連携し、読書活動の質・量・意欲の向上を図る。

III 安全安心な学校（自助・共助・共生の教育）＝安心のつながり

- 安全で安心な教育環境づくりの推進
 - ・危機に対応できる実践的で具体的な研修を推進する。（緊急時の防犯体制や命に直結する危機管理体制の確立）
 - ・学校安全計画、防災教育計画、いじめ防止基本方針を作成し、地域・保護者・関係機関と連携を取りながら安全安心な教育環境づくりに取り組む。
 - ・基本的生活習慣や学習規律など、ルールやマナーを身につけ安心して過ごせる学習環境を確立する。
 - ・個人情報の取り扱い、ハラスメント等についての理解を深め、実践する。
- 美しい学校環境づくりの推進
 - ・自分たちで美しい学習環境をつくりだすという児童の自主的自立的な清掃美化活動を展開する。
 - ・「安全・情報・美化相互評価の日」を活用する。
 - ・心豊かに過ごせる学習環境を意識した掲示方法や内容、修理整備に取り組む。

IV 地域に開かれた学校（「ねらい」を共有した学校・家庭・地域総がかりの教育）＝地域とのつながり

- 「育てよう たくましい心と体 伝える力」（R1年度 教育連携協議会スローガン）の具現化
 - ・各教科・領域で、地域人材を活用することで教育活動の充実を図る。
 - ・学校行事・図書館・園芸等に保護者や地域ボランティアを導入し、児童とのふれあいの場とする。
- パートナリシップの精神のもと、コミュニティースクール、地域・家庭との連携
 - ・コミュニティースクールでの熟議や行事後の保護者アンケート結果を、教育活動に反映する。
 - ・学校（学年）便りやホームページなどで、学校の情報を積極的に発信する。
- 近隣の学校園との教育連携の推進
 - ・近隣校種間の連携を推進し、相互理解と系統性のある教育活動を推進する。

V 専門性を深化する学校（同僚性を培う職場）＝教職員のつながり

- 教職員が、互いに敬意をもって役割を果たしながら、校内研修や自主研修への積極的参加
- 先を見通した計画と実践で、勤務時間の適正化を図り、ゆとりある職場環境づくりの推進